



無事故で年末 笑顔で年始

年末の交通安全県民運動
12月11日(木)～20日(土)

年末の慌ただしさや交通量の増加により、毎年この時期は交通事故が多く発生します。家族みんなで、新しい年を笑顔で迎えられるよう正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけ、交通安全に努めましょう。

高齢者に 思いやりの運転を

高齢者の交通事故は夕方から薄暮にかけて多く発生しています。この時間帯の運転は特に注意が必要です。車のライトは早めに(日没1時間前が目安)点灯し、高齢者を見かけたら徐行し、狭い道や裏通りではすぐに止まれる速度で走行するなど、思いやりのある運転をしましょう。

反射材を 身に付けましょう

薄暮時や夜間、雨の日は見通しが悪く、運転手から歩行者がよく見えないことがあります。このようなときに外出する場合、歩行者は明るい服装で反射材を着用し、運転者から早く発見されるようにしましょう。自転車利用者は、必ず点灯し、自転車にも反射材を取り付けましょう。

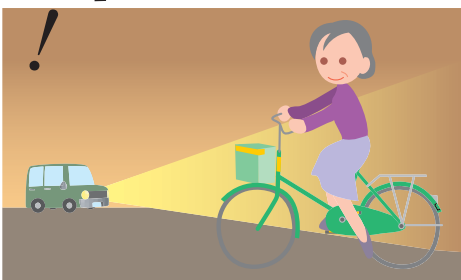
シートベルトを必ず 着用しましょう

万が一、事故に遭ってしまったとき、シートベルトを着用していない場合の死亡率は、着用していた場合の10倍以上になるといわれています。また、シートベルトは正しく締めなければ効果がありません。シートベルトを必ず着用しましょう。



特 夜の自転車は、 に見落とされ やすい

ライトを必ず点灯し、安全確認を念入りに!!
夜光反射材もすすんで活用しましょう。



暗い道で見落とされる

車から見ると、暗い車道の左前方を走る自転車は、たいへん見えにくいため追突される危険性があります。

明るい照明で見落とされる

商店やガソリンスタンドなどの明るい照明に目がくらんだ車のドライバーが、近くの暗がりにいる自転車を見落としていることがあります。

右・左折車に見落とされる

車のライトは、右折するときは右横方向から、左折するときは左横方向から横断してくる自転車を見落とされません。

左からの車に見落とされる

車のライトはわずかに左方向を向いているため、直進中、道路の右から横断してくる自転車が見えにくいのです。

雨の日は特に見落とされる

雨でぬれた路面に車のライトも街灯の光なども吸収されるため、自転車が大変見えにくくなります。